

ふくしの総合相談所 暮らしサポート成田

通信
第1号

発行 平成27年11月

再出発(Restart)



機関紙発刊にあたって

今年4月から生活困窮者自立支援法が施行され、生活や仕事に関する相談支援が全国で始まっています。成田市では、「暮らしサポート成田」という名称で成田市商工会館1階に相談所が開設されました。静かなこじんまりとした環境で相談しやすい雰囲気になっていきました。その運営は成田市社会福祉協議会と社会福祉法人大成会が共同事業体として、成田市から業務を受託し、悩みごと何でも相談と広く受け止め、多様な相談に対応していくことを掲げています。事業開始からこれまでの間、いろいろな相談をお受けしながら、相談力を高める体制づくりに励んできました。

これからは本事業の周知に努め、地域で孤立した方々へ支援を早期に届けていくため、機関紙を発行することになりました。

つきましては、支援を必要とする、しないにかかわらず、暮らしサポート成田について知っていただき、地域の方々の幸せづくりに寄与できるよう取り組んでまいりますので、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

6カ月間の相談・支援の状況

● 電話や来所されて相談された方

185 名

※件数は少ないですがメールでの相談もありました。

e-mail: kurashi-narita@grace.ocn.ne.jp

● 相談支援として対応した件数

(電話・自宅訪問・関係機関同行など)

1,598 件

● 年齢は20歳代から

80歳代の方まで
さまざまです。

就職支援は、40歳代と50歳代の方が多いです。

● 相談内容で多い割合

1番 仕事について 29 %

2番 住まいについて 15 %

3番 収入・生活費について 11 %

自宅訪問での相談や年金申請の同行なども行いました。

寄せられた主な相談内容

- ・数ヶ月から数年間仕事が見つからない。
- ・借金の返済で家計が苦しい。
- ・家賃の滞納がたまり退去しなければならない。
- ・預貯金が底をついて生活費がない。
- ・家族が自宅で引きこもっている。

お知らせ

フードドライブ

食品寄付のお願い

各ご家庭から、賞味期限が切れる前の食品の寄付を募っています。これらは生活に困っている方に無償で届けられます。回収場所は、成田市社会福祉協議会(成田市保健福祉館内)と暮らしサポート成田です。



支援の土台

★ 本制度が目指す目標の一つとして、困りごとを抱えた方の『自立と尊厳の確保』が掲げられています ★

自立にも「日常生活自立」「社会的自立」「就労自立」という多様なあり方が示され、ひとり一人に応じた段階が尊重されますので、相談を利用される方の希望を重視し、自分のペースで取り組むことができます。

暮らしサポート成田で行っている相談支援内容のご案内

仕事



就労準備支援

- 就職までの計画作成
- 職場見学や実習
- 履歴書作成や面接のサポート
- 就職後の継続相談

お金



家計相談支援

- 家計表の作成
- 家計簿づくりのサポート
- 法テラスの紹介(同行)
- 貸付のあっせん

家賃助成 の申請受付



住居確保給付金

- 賃貸住宅の家賃助成
- 離職から2年以内で、就職活動をする方の家賃を助成。給付金額に上限があり、他にも要件があります。

利用できる制度や関係機関等がない場合であっても支援員は相談ごとの解決に向けて一緒に取り組んでいきます。

制度や人との繋がりによって支援をしていきます

自立相談支援

— サポートの内容例 —

- ★ 悩みごと何でも相談
債務・滞納・収入減少・就職・転職・人間関係・孤独・社会参加・こころの健康 など
- ★ 制度や関係機関のご紹介
- ★ ハローワークへの同行支援
- ★ 各種求人情報の提供
- ★ 社会福祉制度利用申請の調整



相談の入口



— 自立相談支援の役割 —

- 支援員がお話を聴き、どのような制度が利用できるか見通しを立てます。
- ご本人の思いや希望をもとに相談者と支援員と一緒に生活再建のための支援計画を作成します。
- 支援計画に沿って継続的に相談支援を行います。ご自宅等へ出向いて相談をお受けすることもあります。

相談を受ける内容を限定していません。先ずはご相談ください！

相談支援を利用されている方のご紹介

Aさんは、20年以上正社員として働いてきましたが、病気のため退職しました。その後、障害者手帳を取得して別の会社に再就職をした経験もあります。ここ2～3年は働いていなかったため暮らしサポート成田に、「仕事をしたい」という相談の電話が入りました。

障害年金を申請しようという話になり、年金事務所に行ってみると数年前に相談しており、あと一步のところで申請が止まっていたことが判明しました。現在は、障害年金の申請を済ませ裁定の結果を待っています。また、再就職のご希望に対しては、利用できる制度やサービスを探しながら新たなチャレンジに向かって相談を重ねているところです。

Aさんのように、一部の社会保障や福祉の制度を利用していても、すべての制度に繋がっていない方、あるいは制度自体を知らないままに時が過ぎてしまっている方も少なくないと思われます。



★ご本人より★

本来は窓口まで自分で行くことがよいかもかもしれませんが、交通費や体調のことを考えるとできませんでした。そんな時に自宅まで来てもらって助かりました。食べる物が無い時には他の支援機関を紹介してもらいました。これからも困った時には相談をしようと思います。相談をしようかどうか迷っている人がいたら、安心してSOSを聞いてもらえるところだと思いますので、気軽に連絡してみるとよいと思います。

【編集後記】

生活に困りごとを抱えた状態では、気持ちのゆとりがなくなる、人との繋がりが薄れる等によって、情報を得ることもむずかしくなります。この制度は、支援員が待ちの姿勢ではなく支援を届けていくことが重要だと言われています。本機関紙も多くの方の目に触れていただけるような内容や仕組みとしたいと思います。

